

<対策のポイント>

病害虫の薬剤抵抗性の発達や近年の気候変動等の影響による病害虫の発生パターンの変化等により**防除が困難となっている作物**に対する**緊急的な防除体系の確立**を支援します。

<政策目標>

病害虫の薬剤抵抗性の発達や発生パターンの変化等に対応する効果的な防除体系の構築

<事業の内容>

<事業イメージ>

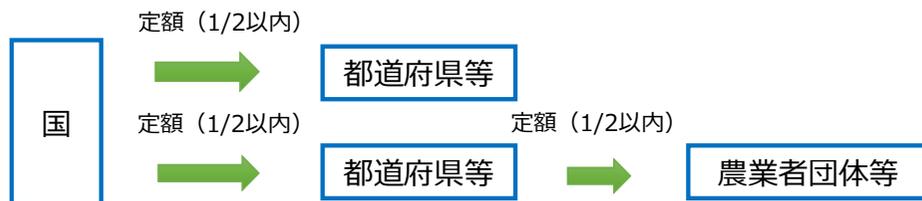
1. 防除が困難となっている作物に対する緊急的な防除体系の確立

病害虫の薬剤抵抗性の発達、近年の気候変動等の影響による病害虫の発生パターンの変化、登録農薬が少ない地域特産作物（マイナー作物）における病害虫による被害の発生、農薬登録の見直し等による使用可能な農薬の減少等により、従来の防除対策では**防除が困難となっている作物**について、**緊急的な防除体系の確立**に向けた代替農薬の選定、新たな防除技術の実証等を支援します。

2. 総合防除の普及のための指導者の育成

総合防除の普及のため、**指導者の育成**に必要な**研修・講習への参加、当該研修・講習の開催等**を支援します。

<事業の流れ>



防除が困難となっている作物に対する防除体系の確立



薬剤抵抗性病害虫
(例) DMI剤耐性リンゴ黒星病、ストレプトマイシン耐性モモセン孔細菌病

- 代替農薬の選定と新たな防除体系の確立
- ローテーション散布の有効性の検証
- 薬剤感受性検定方法、効率的なモニタリング手法等の確立



近年の気候変動等の影響により発生が増加した病害虫
(例) 大雨等の影響により多発生となったタネギベド病

- 薬剤感受性検定の実施による薬剤耐性の発達状況の把握
- 効果の高い農薬の選定と新たな防除体系の確立
- 雨の影響を受けづらい効果的な農薬の散布方法の検証

効果的な防除体系の構築